



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町 52

TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

【びわ湖環境ビジネスメッセ2019】 令和元年10月16日～18日

今年の環境ビジネスメッセは、二小間スペースに組合員7社の製品提供を受け、「彦根バルブ」とバルブ産業のPR活動を行なった。特に学生への声掛けを行い簡単なアンケートを実施し、地場産業として「バルブ産業」の認知度調査を行なった。
全般に、来訪者が少なかったのが残念であったが、来訪者には説明を詳しく行うことが出来た。尚、学生への調査結果は次の通りです。

★アンケート実施者 【26名】

- ①大学生・院生 18名 【滋賀県立大10名・長浜バイオ大8名】
- ②短大・能開 8名 【滋賀県職能開発短期大学校8名】

【問1】バルブ産業は地場産業と知っていますか **A. YES 19. 2%**

- ① 大学生・院生 A.YES 4名 B.NO 14名
- ② 短大・能開 A.YES 1名 B.NO 7名

【問2】バルブ産業に興味を持たれましたか **A.はい 46, 2%**

- A.はい B.どちらでもない C.なし
- ① 大学生・院生 A. 8名 B. 8名 C. なし D. 無回答2名
 - ② 短大・能開 A. 4名 B. 2名 C. なし D. 無回答2名



【彦根地場産業展（夢京橋あかり館）】 令和元年11月1日～4日



彦根地場産業連絡協議会主催の「彦根地場産業展」が夢京橋あかり館で開催された。開催期間中には、城まつりパレードもあり、大勢の観光客が来店されPRに努める事が出来た。また、ビバシティ彦根・駐車場で開催された「観光と物産展in彦根」にも展示を行った。

【秋季組合ゴルフ大会】

令和元年10月27日 於：彦根カントリー倶楽部

- 優勝：古川 昌孝 氏
(古川工業㈱)
- 準優勝：角田 孝幸 氏
(角田鉄工㈱)
- 第3位：鈴木 宗亮 氏
(大宗㈱)



祝『現代の名工』に松林 良蔵氏 (㈱マツバヤシ)

令和元年度の卓越した技能者（現代の名工）に、松林良蔵氏（㈱マツバヤシ会長）が選ばれ、厚生労働大臣より表彰されました。「卓越した技能者の表彰制度」は、卓越した技能を持ち、その道で第一人者と目されている技能者を表彰する制度で、全国で150名、滋賀県からは2名が受賞。松林会長は、昨年度滋賀県技能者表彰（おうみの名工）に続いての受賞です。

祝『秋の叙勲 旭日単光章』竹下敏隆氏 (近江化学工業㈱)

令和元年秋の叙勲「旭日単光章」を中小企業功労として、賛助会員の近江化学工業㈱会長竹下敏隆氏が叙勲されました。

令和元年度前期

「国家試験：技能検定」合格者（敬称略・順不同）

- 【1級】（機械加工・普通旋盤作業）井上 真一 廣瀬バルブ工業㈱
（鋳造・非鉄金属鋳物鋳造）大森 拓 ㈱マツバヤシ
（金属熱処理・一般熱処理）大前 僚太 ㈱ミヤジマ
- 【2級】（機械加工）松林克蔵・森岡一義（マツバヤシ）
（鋳造）西川鉄也（マツバヤシ）
- 【3級】（機械加工）門野雄大（協和工業）
（機械検査）田中利明（宮部鉄工）

「物故者慰霊法要」

11月12日午後4時30分より組合恒例の物故者慰霊法要が、明性寺にて16名が参列して営まれた。今年、平成30年12月16日に逝去された清水重一氏（協和工業㈱会長）と令和元年10月4日に逝去された平居敏男氏（㈱清水合金製作所元会長）が合祀された。

【台湾視察研修報告】

令和元年11月20日～23日

1. 視察行程

- 11月20日（水） 移動、高雄市内視察
- 11月21日（木） （高雄から台中移動） 台中の工場視察
「台湾油研」視察：油圧機器、油圧装置の製造・販売、電磁弁製造
- 11月22日（金） 台北の工場視察
「バリューバルブ」視察：主にバタフライバルブ製造
- 11月23日（土） 移動、帰国

2. 参加者（15名） 役員10名・組合員5名 全15名

■「台湾油研股份有限公司」： 場所 台中市内
東証一部上場 油研工業（株）の海外グループ会社 1969年5月に設立、今年台湾進出50周年を迎える。

本社工場と第2工場を見学。油圧機器の鋳物加工から油圧装置の製造過程を視察、工場内は整理整頓が行き届き非常にきれいな工場との印象を持った。工作機械は、台湾のメーカーも一部あるが、日本の大手工作機械メーカーの最新機械が多く使用されていた。



■「バリューバルブ」： 場所 台北市内

1980年創立、従業員数約400名、年商2019年度23億台湾ドル（約83億円）。2020年1月上場予定。製品の65%から70%を輸出。鋳造工場も所有し台湾バルブメーカーとしては、トップ企業。今回は本社工場にて組立工場を視察。また、陳総経理（デビット）様との質疑応答もあり、台湾バルブメーカーをより良く理解することが出来た。

